

栄養サポートチーム（NST）が発足

栄養サポートチームとは …



当院では12月より入院患者の治療がスムーズに進むよう栄養サポートチームの活動を開始しました。この栄養サポートチームは、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士などの多職種で構成されており、栄養状態を把握し、患者様に適した栄養管理が行えるよう活動しています。

栄養状態の悪い期間が続くと病気の悪化や術後の回復の遅れ、日常生活の質の低下、褥瘡（床ずれ）などの発症のリスクを伴います。栄養サポートチームでは、食事摂取内容・摂取方法を検討し、身体計測や血液検査などによる栄養評価、栄養治療計画の見直しを行い栄養状態の改善を目指しています。

良い栄養状態を保つためには「食べる」ことが大切です。患者様の多くはご飯・お粥などは食べても、筋肉の維持に大事なたんぱく質が不足しがちです。ご飯やお粥だけでなく、たんぱく質を含む食品（卵、乳・乳製品、肉、魚、大豆製品）を3度の食事で食べるように指導していく方針としています。

悪い栄養状態とは…たんぱく質やエネルギーが不足した状態をいいます。健康な体を維持し活動するのに必要な栄養素が足りない状態で食べる量や活動量が減り、体重や筋肉量の減少が見られます。年齢と共に「あっさりしたものを好む」「食事量がだんだんと少なくなってきた」など知らない間に、じわじわと忍び寄ってきます。

クリスマスコンサートを開催（12/14）

12月14日（土）「第7回クリスマスホールコンサート」を開催しました。

悪天候の中、たくさんの方々にご来場いただき、ありがとうございました。

コンサートでは、当院コーラス隊による合唱から始まり、病院長と川渕看護師による中島みゆきさん「糸」のピアノ演奏、木古内中学校吹奏楽部による演奏が行われました。その後、小澤管理者のトランペット演奏が行われ、聴衆を魅了しました。最後にご来場いただいた方を含め全員で「青い山脈」を合唱し幕を閉じました。

第27号

もつとない

木古内町国民健康保険病院

病院理念

「保健・医療・福祉の連携により住民の幸に貢献します」

診療予約については

01392-2-4895

（ヨヤクゴー）



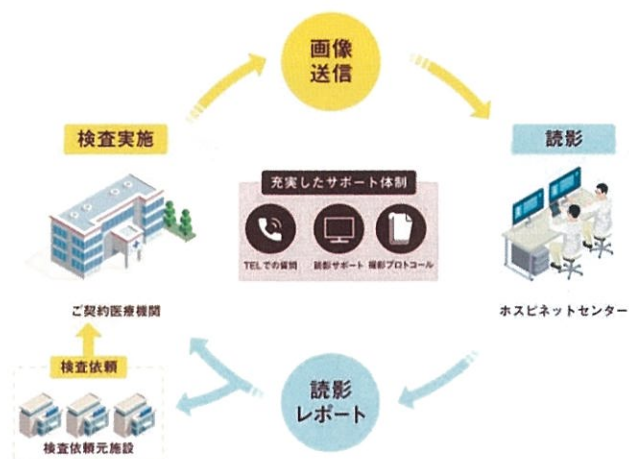
遠隔読影のお話

遠隔読影とは？

遠隔読影とは何のことでしょう？あまり聞きなれない言葉ですね。遠隔読影とは、病院で撮影したCTやレントゲンの画像を、インターネット回線で専門の先生（放射線科の医師）へ送信し、診断してもらうことです。

当院では、平成28年9月からこの遠隔読影を開始しました。もちろん当院の先生方もCTやレントゲンの画像をみて診断をします。その中で疑問に思ったことや確かめたいことなどがあったときに利用しています。

また、健康診断で撮影した胸のレントゲン画像については、全て遠隔読影に送ります。これは2重チェックと言い、1人の医師より2人の医師で診断をして、病変の見逃しを最小限に抑え、健康診断を受ける方々により安心していただけるよう実施しています。



このように遠く離れた専門医師による画像診断のほか、在宅患者をインターネットを利用して診察したり、数メートル離れたところからロボットの遠隔操作で手術をしたり、インターネット通信技術の進歩や医療技術の進歩により実現しています。20数年前は、1枚の画像を送るのに数分かかっていた記憶があります。今では何百枚の画像を数10秒で送れます。もしかすると、あの「ドラえもん」の夢のような道具が実現する日が来るかもしれませんね。

特定健診は受診されましたか？

ご予約はお早めに…



特定健診は生活習慣病を早期に発見、改善するために実施しています。結果から健康リスクを把握し生活習慣を改善することが大切です。対象の方には昨年4～6月までに加入されている保険者から受診券が郵送されます。お手元の受診券の期限をご確認のうえでご予約をお願いいたします。

例年、年度末の特定健診は大変混み合います。期限間際のお申し込みの場合、受付できない場合もありますので、日程に余裕をもってご予約をお願いいたします。



認定第 JC1983 号
機能種別版評価項目3rdG : Ver.1.0
木古内町国民健康保険病院

安全・安心・信頼の
証

<お問い合わせ先>

木古内町国民健康保険病院

住所：木古内町字本町710番地

電話：01392-2-2079

FAX：01392-2-6025

次回発行は、令和2年5月1日を予定しています。